

トルコ大使館／トルコ共和国首相 府投資促進機関(ISPAT)／ トルコ海外経済関係委員会(DEIK)

フィード・イン・タリフ法が国会を通過

かねてから成立が期待されていたフィード・イン・タリフ（電力の固定価格買取制度）に関する法案が、昨年末に国会を通過した。「法令6094：再生可能エネルギーによる発電に関する法令5346の修正」で規定された買取価格は、風力発電でkWh当たり7.3セント、太陽熱発電で同13.3セント（申請認可日から10年間）とやや当初の期待よりは低いものであったが、一方でサプライズともいえたのが、特定部品に国産のものを使用した場合の上乗せ（同5年間）である（下記Schedule II参照）。

「国産」の基準については、4条6項Bで「国産の基準、特定方法等については所轄省庁の定める細則に基づく」となっている。発電設備の立地場所や変圧所が競合している申請については、4条6項Cで「TEIAS（トルコ送電公社）が本法令のスケジュールIの（買取）価格を下回る価格での入札を行い決定する」と定めている。太陽熱発電については同じく4条6項Cで2013年末までの間の総発電量を600MW以内にするとしている。また、5条ではすべての認可を受けた再生可能エネルギーの供給者は送電コストについて10年間にわたり85%の割引を得られると規定している。

この法令については、国内の環境保護派から政府は再生可能エネルギーに十分には力を入れていないという懸念も表明された。しかし、2011年1月、EMRA（エネルギー市場監督庁）のKoktas総裁は「2011年のエネルギー・セクターへの総投資額は70億リラ、このうち60億リラが政府保証に頼らない民間投資。また、初めてエネルギー関連投資の過半数が再生可能エネルギーへの投資に向かう」と強気の見通しを発表した。同総裁は、トルコにおける送電ロス（盗電を含む）は全体の15%に達すると述べ、このロス率を2015年には10%にまで押さえ込み、年間で33億リラの支出削減を目標にしていると述べた。

トルコ風力発電所投資家協会の理事Zeki Eris氏は、風力発電に関しては国産部品の採用により平均価格でkWh当たり平均で9ドルの買取保証となり、2010年のトルコにおける平均1次売電価格と同等になったと評価する。同氏は、「特に国産品に対する追加条項に注目している。風力発電による発電量の2020年までの政府目標達成は確実だろう。この法令によりトルコは風力発電の部品メーカーの中心地になり、トルコから北アフリカ、中東、バルカン諸国への輸出拠点となる」と述べた。

なお、近年発表された世界風力エネルギー評議会の報告書によると、トルコの2009年の新規風力設備容量は343MWで、2010年（推計値）は500MWとなっている。

同法令の全文（英語仮訳）については、http://www.torukotoushi.jp/docs/category5/category5_430.pdfを参照。お問い合わせはトルコ投資促進機関（ISPAT）東京事務所（〒150-0031東京都渋谷区桜丘町29-21-304、TEL：03-6415-3386）まで。

トルコ投資の関連情報サイト開設

トルコ投資にかかわる法令、セクター別報告書、セミナー情報などをダウンロードするためのサイト、「トルコ投資.JP」（www.torukotoushi.jp）が開設されました。不定期に開催されるセミナーの自動配信登録なども可能です。

Schedule I	
Type of Production Facility Based on Renewable Energy Resources	Prices Applicable (US Dollar cent/kWh)
a. Hydroelectric production facility	7.3
b. Wind power based production facility	7.3
c. Geothermal power based production facility	10.5
d. Biomass based production facility (including landfill gas)	13.3
e. Solar power based production facility	13.3

Schedule II		
Type of Facility	Domestic Production	Domestic Contribution (US Dollar cent/kWh)
A-Hydroelectric production facility	1-Turbine	1.3
	2-Generator and power electronics	1.0
B-Wind power based production facility	1-Wing	0.8
	2-Generator and power electronics	1.0
	3-Turbine tower	0.6
	4-All of the mechanical equipment in rotor and nacelle groups (excluding payments made for the wind group and the generator and power electronics.)	1.3
C-Photovoltaic solarpower based production facility	1-PV panel integration and solar structural mechanics production	0.8
	2-PV modules	1.3
	3-Cells forming the PV module	3.5
	4-Invertor	0.6
	5-Material focusing the solar rays onto the PV module	0.5
D-Intensified solar power based production facility	1-Radiation collection tube	2.4
	2-Reflective surface plate	0.6
	3-Sun chasing system	0.6
	4-Mechanical accessories of the heat energy storage system	1.3
	5-Mechanical accessories of steam production system that collects the sun rays on the tower	2.4
	6-Stirling engine	1.3
	7-Panel integration and solar panel structural mechanics	0.6
E-Biomass power based production facility	1-Fluid bed steam tank	0.8
	2-Liquid or gas fuel steam tank	0.4
	3-Gasification and gas cleaning group	0.6
	4-Steam or gas turbine	2.0
	5-Internal combustion engine or Stirling engine	0.9
	6-Generator and power electronics	0.5
	7-Cogeneration system	0.4
F-Geothermal power based production facility	1-Steam or gas turbine	1.3
	2-Generator and power electronics	0.7
	3-Steam injector or vacuum compressor	0.7